

# 天明まちづくりセンターだより

発行／熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 TEL223-1117 FAX223-3275

## 銭塘小ポンプ贈呈式

9月14日、銭塘小学校で銭塘校区自治協議会より同校へ手押しポンプの贈呈式がありました。これは、校内に掘られた井戸の地下水をくみ上げるためのもので、普段はほたるの池や子どもたちのために使われ、災害時には生活用水として活用される予定です。



## あげんかいた

9月24日は中秋の名月。下内田をはじめ天明各地域で、地元で採れた作物をお供えし、収穫に対する感謝をあらわす行事「あげんかいた」が行われました。子どもたちは各家庭をまわり、お供え物をいただきました。昔は「だご」などをいただきましたが、今は市販のお菓子に変わり、今年も子どもたちの楽しい思い出となりました。



## 川口校区自治協 特別講演会

9月27日、天明公民館にて川口校区自治協議会主催の特別講演会がありました。熊本市民病院代謝内科部長の樋川先生が「糖尿病とメタボリック症候群」と題して、糖尿病やメタボリック症候群の症状や治療法、食事管理や運動の大切さについてくわしくお話いただきました。



## 銭塘校区4町内 下内田避難訓練

9月28日早朝、銭塘4町内で高潮を想定した避難訓練「二階へ逃げよう」がありました。防災無線と消防車で避難の呼びかけを合図に、二階建ての家は自宅の二階へ、平屋の家はあらかじめ決められた近所の二階建ての家の玄関先まで避難する訓練でした。その後、皆さんは公民館に集まり、台風や防災についての話し合いをされました。



## 川口校区3町内 二丁えびすまつり

9月29日、川口3町内で二丁えびす祭りが行われました。あいにくの台風の影響で一部変更もありましたが、玉串奉納、ひょっとこ踊り、川口小のソーラン節の披露もあり、100人を超える方で賑わいました。



## 天明の歴史シリーズ8 銭塘校区 新開大神宮

第8弾「新開大神宮」の紹介者は白河部健さんです。

新開大神宮の御祭神は、天照大御神と豊受大御神である。由緒によると、室町時代(文安2年)に、太田黒孫七郎が伊勢神宮を奉祀したとある。その頃、新開大神宮付近は海水が漫々とし、孫七郎は日夜身を清め新開大神宮に奉仕した。後では、新地が築造され海が遠くなったので、井戸を掘り禊ぎされるのが常であった。

この由緒記から、興味深い事実が浮かんでくる。

- ① 中世(鎌倉～室町時代)の頃、新開大神宮の西側近くは海だった。
- ② 川口線の内田バス停付近に、大築籠・小築籠・東築籠・築籠という地名がある。中世においては、田んぼに潮が入らないように土の土手で防ぎ、外側に竹で編んだ籠に石をつめ、杭で止め保護していた。これが築籠である。中世の頃、海岸線が新開大神宮近くから、内田バス停付近へと移動したことが伺えるが、その間が新地であると考えている。
- ③ この新地に、太田黒孫七郎の出身地である旧鹿本郡内田村から住民が移り住んだので、内田新開村と呼ばれるようになったようだ。現在、旧鹿本郡内田村には内田川が流れ、下内田や上内田が存在している。

＜新開大神宮と加藤清正、細川藩、林櫻園＞

土木事業の神様である加藤清正は、緑川の改修や奥古閑本村の開発に努めたが、熊本城を築城した際、城材の一部を新開大神宮の宮材に充て、衰えていた新開大神宮を再建した。その後たびたび参詣し、その道は「伊勢道」と呼ばれていた。

その後細川藩になり、海路口はさらに干拓されていったが、細川家も新開大神宮を庇護し、第4代藩主宣紀や第7代藩主治年が参詣している。

時は流れ、幕末から明治にかけて活躍した吉田松陰や横井小楠、宮部鼎蔵、敬神党のリーダーである太田黒伴雄等に多大の影響を与え、肥後国学の祖と言われる人物林櫻園がいる。その櫻園が、晩年を過ごしたのが新開大神宮である。

このように、新開大神宮は、知れば知るほど興味深い、不思議な、由緒あるお宮である。そして、太田黒孫七郎の創建以来今日まで、人々の生活が平和で安全でありますようにと奉祀されているという。

## 天明地区子育て支援ネットワーク会 講演会のお知らせ 「ママにもできる防災～もしもに備えるいつも～」

天明地区子育て支援ネットワーク会は、天明地区の子育てを応援する活動をしており、毎年子育てに役立つ情報満載の講演会などを開催しています。今年度は、歌うママ防災士の柳原志保先生をお呼びして、子育て講演会を開催します。

【日 時】平成30年12月8日(土)  
10:00～11:30(9:30～受付)

【定 員】100名(先着順)

【参加費】無料(◎見守り保育あります)

【会 場】天明公民館 2階B会議室

【申し込み】11月26日(月)まで

(天明地区内の保育園・小学校・中学校、天明児童室へ)

【主 催】天明地区子育て支援ネットワーク会